

研究課題名	ロボット支援下僧帽弁形成術における患者体格因子と手術難易度の関連
研究の意義・目的	<p>当院では、ロボット支援下僧帽弁手術(ろぼっとしえんかそうぼうべんしゅじゅつ)を行っています。その手術を受けた患者さんの診療データを用いて検討を行います。この手術は、胸に小さな傷をあけて専用のロボットを操作し、心臓の弁(僧帽弁)を修復する方法で、身体への負担が少ない低侵襲手術として広く行われています。</p> <p>この手術では、患者さんの胸の形や体格によって、手術器具の動かしやすさや視野の確保のしやすさが変わる可能性があります。例えば、胸の大きさが狭い方は手術操作の難しさに差が生じることが考えられます。しかし、こうした体格の違いが手術の進み具合にどの程度影響するかについては、まだ十分にはわかっていません。</p> <p>本研究では、ロボットを操作している時間(コンソール時間)と患者さんの体格との関係について調べます。コンソール時間とは、術者が実際にロボットを操作している時間のことで、手術の難しさや操作のしやすさを表す1つの目安と考えられます。</p> <p>この研究により、どのような体格の患者さんで手術が難しくなりやすいかを明らかにし、より安全で効率的な手術方法の確立や、患者さん一人一人に適した手術計画の立案に役立てることを目的としています。</p>
研究を行う期間	機関の長の実施許可日 ~ 2028 年 3 月
研究協力を お願いしたい方 (対象者)	2020 年~2025 年に大阪公立大学医学部附属病院の心臓血管外科へ、初回のロボット支援下僧帽弁手術を受けた方が対象となります。
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせて いただく試料・情報 等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報：病歴、診断名、年齢、性別、既往歴、嗜好歴、内服歴、来院時現症、術前 C T 検査所見、術前心臓超音波検査所見、手術情報(術式、コンソール時間、心停止時間、人工心肺時間、手術時間、手術内容)、周術期合併症に関する診療録、遠隔期合併症に関する診療録
試料・情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称	この研究は、公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科心臓血管外科学のみで行います。 【研究責任者】 心臓血管外科学 教授 高橋 洋介
個人情報の取り扱い	この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された診療情報などのこの研究に関するデータは、すぐには個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されます。 この研究から得られた結果が、学会や医学雑誌などで公表されることはあります。このような場合にも、あなたのお名前など個人情報に関することは含まない形で公表されます。

本研究の 利益相反	本研究の利害関係については、各研究機関で定められた利益相反マネジメントの規定等に従って必要に応じて各研究機関の利益相反マネジメント委員会へ報告を行うことにより、利益相反を管理し研究を遂行します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力を したくない場合	診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学医学部附属病院 心臓血管外科 担当者氏名：野田 和樹 電話番号：(06) 6645-3980